



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月12日

上場会社名 株式会社 駅探 上場取引所 東
コード番号 3646 URL <https://ekitan.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 菊井 健大
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 島田 零三 TEL 03-6367-5951
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA※		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	711	△17.2	△23	—	△50	—	△48	—	△51	—
2025年3月期第1四半期	859	△14.0	△2	—	△19	—	△12	—	△18	—

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 △52百万円 (—%) 2025年3月期第1四半期 △17百万円 (—%)

※EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却費

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	△10.94	—
2025年3月期第1四半期	△3.75	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	2,324	1,533	66.0
2025年3月期	2,460	1,649	67.0

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 1,533百万円 2025年3月期 1,649百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	14.00	14.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2026年3月期の配当予想については未定であります。

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2026年3月期の連結業績予想につきましては、現時点では合理的に算定することが困難であるため、未定といたします。今後、連結業績予想の算定が可能となり次第、速やかに開示いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料 6 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期1Q	6,018,800株	2025年3月期	6,018,800株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	1,298,053株	2025年3月期	1,298,053株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期1Q	4,720,747株	2025年3月期1Q	4,827,816株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境が改善する下で各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続いております。一方で、物価上昇の継続による消費者マインドの下振れや中東地域をめぐる情勢、米国における通商政策や金融・為替市場での不確実性が懸念され、世界経済の不透明感は高まっており、国内経済を下押しするリスクが存在しています。そのような環境下においても、IT社会の進展は継続しており、企業の業務効率化や競争力強化を目的としたIT・DXやWEB広告投資は引き続き堅調に推移しております。

このような状況下、当社グループでは、地域軸でユーザーとサービスを繋げることを基本コンセプトとする事業構想「地域マーケティングプラットフォーム (Regional Marketing Platform「以下RMP」)」の具体化を推進しております。このRMP構想推進で実施してまいりました新幹線チケット販売サービスの追加や地域コンテンツの強化によるユーザー増加策は広告収入の増加をもたらし、また、地域創生の考えに沿ったMaaS (Mobility as a Service) パッケージなどの展開は新たなマネタイズの機会を創出させております。

一方、技術革新や社会環境の変化に伴う第3世代移動通信システム (3G) の終了や乗換案内有料会員の減少は、継続して当社の減収要因となっております。また、高収益な有料会員の減少は、相対的に低収益な競争環境の激しい領域でのサービス売上が売上全体に占める構成比率を高めることとなり、売上総利益率の低下を招いており、適正なコスト管理を進める中、販売費及び一般管理費の圧縮を進めているものの、新たな収益の柱が育つまでの途中経過期間として、前年同期と比較した場合、大幅な売上減少ならびに損失拡大が生じております。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は711,819千円 (前年同四半期比17.2%減)、EBITDAは△23,708千円 (前年同四半期は△2,311千円)、営業損失は50,083千円 (前年同四半期は19,683千円の営業損失)、経常損失は48,259千円 (前年同四半期は12,872千円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失は51,646千円 (前年同四半期は18,094千円の親会社株主に帰属する四半期純損失) となりました。

セグメントごとの対前第1四半期連結累計期間の経営成績は、次のとおりであります。

①モビリティサポート事業

RMP構想推進によるメディア収益の拡大やソリューション展開に注力することで新たなマネタイズが徐々に確立されてきているものの、乗換案内サービスのコモディティ化による継続的な有料会員の減少に伴い、当サービスにおける収益の減少が大きく、また、高収益な有料会員の減少は、相対的に低収益な競争環境の激しい領域でのサービス売上が売上全体に占める構成比率を高めることとなり、売上総利益率の低下を招いていることから減収減益が続いております。

この結果、売上高は317,431千円 (前年同四半期比6.7%減)、EBITDAは47,813千円 (前年同四半期比35.8%減)、セグメント利益は32,426千円 (前年同四半期比51.4%減) となりました。

②広告配信プラットフォーム事業

クラウドエンジン株式会社の収益はほぼ横ばいで推移しているものの、2025年3月21日に株式会社サークアの全株式を譲渡したことに伴い、同社の業績が当第1四半期業績から外れたことで大幅な減収となりました。利益面においては、株式会社サークアが前第1四半期会計期間に損失を計上していたため、セグメント損失は若干の改善となりました。

この結果、売上高は162,108千円 (前年同四半期比38.9%減)、EBITDAは△7,796千円 (前年同四半期は△9,824千円)、セグメント損失は11,985千円 (前年同四半期は12,878千円のセグメント損失) となりました。

③M&A・インキュベーション事業

グロースアンドコミュニケーションズ株式会社においては、米国の通商政策の混乱により期初のプロジェクト入替時の開始遅延等が一部発生したことにより収益の減少が発生し、また、株式会社サイバネットにおいても、当第1四半期会計期間に受託開発案件が少なかったことが影響して減収となりました。一方、両社ともに販売費及び一般管理費を適正に削減した影響でセグメント利益は増益となりました。

この結果、売上高は234,899千円 (前年同四半期比7.7%減)、EBITDAは16,037千円 (前年同四半期比10.3%増)、セグメント利益は10,594千円 (前年同四半期比18.1%増) となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は1,689,422千円となり、前連結会計年度末に比べ144,439千円減少しました。これは主に、売掛金及び契約資産の減少152,314千円によるものであります。固定資産は634,960千円となり、前連結会計年度末に比べ7,843千円増加しました。これは主に、ソフトウェアの増加54,394千円、無形固定資産「その他」の減少19,590千円、投資その他の資産「その他」の減少16,767千円及びのれんの減少6,936千円によるものであります。この結果、総資産は2,324,383千円となり、前連結会計年度末に比べ136,595千円減少しました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は552,189千円となり、前連結会計年度末に比べ9,408千円増加しました。これは主に、流動負債「その他」の増加80,091千円、未払法人税等の減少34,801千円及び買掛金の減少25,408千円によるものであります。固定負債は238,952千円となり、前連結会計年度末に比べ29,701千円減少しました。これは主に、長期借入金の減少19,617千円によるものであります。この結果、負債合計は791,141千円となり、前連結会計年度末に比べ20,293千円減少しました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は1,533,241千円となり、前連結会計年度末に比べ116,302千円減少しました。これは主に、利益剰余金の減少117,736千円によるものであります。この結果、自己資本比率は66.0%となり、前連結会計年度末に比べ1.0ポイント減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点では業績の見通しの前提となる事業環境の仮定を置くことが困難であることから、2026年3月期の連結業績予想については未定といたします。今後、連結業績予想の開示が可能となり次第、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,260,898	1,259,429
売掛金及び契約資産	524,956	372,642
商品	872	1,118
仕掛品	3,761	2,327
原材料及び貯蔵品	576	538
その他	43,999	54,561
貸倒引当金	△1,203	△1,194
流動資産合計	1,833,862	1,689,422
固定資産		
有形固定資産	58,353	55,964
無形固定資産		
ソフトウェア	180,915	235,310
顧客関係資産	23,075	22,187
のれん	140,210	133,273
その他	61,010	41,420
無形固定資産合計	405,212	432,192
投資その他の資産		
その他	164,929	148,161
貸倒引当金	△1,378	△1,358
投資その他の資産合計	163,551	146,803
固定資産合計	627,116	634,960
資産合計	2,460,979	2,324,383
負債の部		
流動負債		
買掛金	171,314	145,905
1年内返済予定の長期借入金	72,708	68,424
未払法人税等	44,993	10,191
賞与引当金	54,234	48,046
役員賞与引当金	2,700	2,700
買付契約評価引当金	6,436	6,436
その他	190,393	270,485
流動負債合計	542,781	552,189
固定負債		
長期借入金	210,088	190,471
資産除去債務	17,308	17,308
退職給付に係る負債	31,262	21,484
繰延税金負債	7,995	7,688
その他	2,000	2,000
固定負債合計	268,654	238,952
負債合計	811,435	791,141
純資産の部		
株主資本		
資本金	291,956	291,956
資本剰余金	321,553	323,435
利益剰余金	1,684,051	1,566,315
自己株式	△648,398	△648,398
株主資本合計	1,649,162	1,533,308
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	380	△66
その他の包括利益累計額合計	380	△66
純資産合計	1,649,543	1,533,241
負債純資産合計	2,460,979	2,324,383

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	859,426	711,819
売上原価	598,392	509,497
売上総利益	261,034	202,321
販売費及び一般管理費	280,717	252,405
営業損失(△)	△19,683	△50,083
営業外収益		
受取利息	470	25
受取配当金	329	17
未払配当金除斥益	318	292
保険解約返戻金	6,637	1,348
利子補給金	—	176
その他	267	912
営業外収益合計	8,024	2,773
営業外費用		
支払利息	991	935
自己株式取得費用	222	—
その他	—	13
営業外費用合計	1,213	949
経常損失(△)	△12,872	△48,259
特別利益		
負ののれん発生益	—	1,739
特別利益合計	—	1,739
特別損失		
固定資産除却損	—	0
特別損失合計	—	0
税金等調整前四半期純損失(△)	△12,872	△46,519
法人税等	5,222	5,126
四半期純損失(△)	△18,094	△51,646
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△18,094	△51,646

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純損失(△)	△18,094	△51,646
その他有価証券評価差額金	1,060	△447
四半期包括利益	△17,034	△52,093
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△17,034	△52,093

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純利益または税引前四半期純損失に法定実効税率を乗じた金額に、繰延税金資産の回収可能性を考慮しております。

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			
	モビリティ サポート事業	広告配信プラット フォーム事業	M&A・インキュベ ーション事業	計
売上高				
外部顧客への売上高	339,742	265,183	254,501	859,426
セグメント間の内部売上高又は振替高	368	—	—	368
計	340,111	265,183	254,501	859,795
セグメント利益又は損失(△)	66,781	△12,878	8,969	62,872
減価償却費	7,673	887	1,878	10,439
のれん償却額	—	2,166	3,689	5,856
EBITDA(注)	74,454	△9,824	14,537	79,167

(注) EBITDAは、セグメント利益又は損失に減価償却費及びのれん償却費を加えた数値であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	62,872
全社費用(注)	△82,555
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△19,683

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			
	モビリティ サポート事業	広告配信プラット フォーム事業	M&A・インキュベ ーション事業	計
売上高				
外部顧客への売上高	316,831	161,888	233,099	711,819
セグメント間の内部売上高又は振替高	600	220	1,800	2,620
計	317,431	162,108	234,899	714,439
セグメント利益又は損失 (△)	32,426	△11,985	10,594	31,035
減価償却費	15,387	887	1,808	18,083
のれん償却額	—	3,301	3,634	6,936
EBITDA (注)	47,813	△7,796	16,037	56,055

(注) EBITDAは、セグメント利益又は損失に減価償却費及びのれん償却費を加えた数値であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

利益	金額
報告セグメント計	31,035
全社費用 (注)	△81,119
四半期連結損益計算書の営業損失 (△)	△50,083

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	11,515千円	19,439千円
のれんの償却額	5,856千円	6,936千円